

CGアニメコンテストの入選作品及びその関連情報を収集し、データベース化等の整理を行った上で、web等で公開する作業

株式会社 ドーガ

概要／課題

●本事業では、CGアニメコンテストを中心とする自主制作CGアニメの作品や作者、それらに関する様々な情報を収集し、必要に応じてデータベース化して整理していく。そして、それらを専用のwebサイト「CGアニメARCHIVES」（右図）で公開している。



●自主制作CGアニメ界は、現在国内外で活躍する商業アニメ監督などのクリエイタを多数輩出しており、人材や技術を育てる土壌となってきた。中でも、CGアニメコンテストは、CGアニメの黎明期である1988年から現在まで継続して行われている唯一のコンテストであり、その入選作群は、CGアニメの発展を語る上で重要な作品のほとんどを網羅している。

●しかし、それらの作品や、関連情報などが、HDDなどの記録媒体の破損や記憶の風化などによって、現在刻々と失われつつある。

●そこで本事業では、以下のような活動を行ってきた。

- 1) CGアニメコンテストの入選作品のアーカイブ化
- 2) 関連情報のデータベース化
- 3) 関係者等の証言や解説の文書化

成果

■今年度に収集、整理、公開した成果物

(1) CGアニメコンテストの入選作品のアーカイブ化

- ・CGアニメコンテストの全入選作と思われる530本のうち、新たに274本を視聴可能な形式（mp4）に変換した。
- ・個々の作品を紹介するwebを466ページ作成し、公開した。
- ・そのうち52作品については、作者の許諾を得て、全編を公開した。（右図）



(2) 関連情報のデータベース化

- ・CGアニメコンテストの入選者が、その後どのような活躍をしているのか引き続き調査し、データベースに加え公開した。

(3) 関係者等の証言や解説の文書化

- ・自主制作CGアニメの歴史を語る上で重要な事柄を、その当事者や関係者、または専門家や研究者が解説する歴史解説文書のサンプルを9編作成した。（右図）
- ・これを専用webサイトで公開し、広く執筆者を募集した。



■社会的な成果・反響

・上記の公開したwebサイトへのアクセスは、来場者数が11,500人以上、閲覧ページ数が48,000ページ以上となっている。（2021年9月～2023年1月25日）

・朝日新聞社主催で、(1)の作品や(2)のデータベースを活用した、配信イベントを2022年6月5日に実施した。これに関連して、朝日新聞紙面上でも、1/2ページを使った特集記事が、同年5月16日と6月23日の二度掲載された。

・(3)のサンプル文書をまとめた小冊子を150部作成し、実費での頒布を行ったところ、希望者が殺到し、1時間半でなくなった。